

七飯町海外交流派遣研修 報告書の発行にあたって



七飯町長 なかみや 中宮 やすかず 安一

平成7年から実施している七飯町海外交流派遣研修事業が、今回で24回目を迎え、コンコード町の皆様、そして関係各所の皆様の多大なるご協力により、無事に終了することができたことを心より感謝申し上げます。

この度の訪問では、10月29日から11月9日までの12日間、総勢14名（高校生3名、中学生5名、引率教員1名、町民代表3名、町職員2名）の訪問団が姉妹都市コンコード町などを訪れ、現地でのホームステイや交流を通して、アメリカの文化や習慣を学ぶとともに、日本そして七飯町の魅力を紹介するなどし、姉妹都市交流の目的を十二分に達成してきました。

中高校生派遣者につきましては、町内の各学校長より当事業への参加に相応しい生徒をご推薦いただき、生徒8名を派遣いたしました。現地では、七飯高等学校の姉妹校コンコードカーライル高校にてホストファミリーの生徒とともに授業に参加し、アメリカの学校生活を体験しながら、折り紙や書道といった日本文化の紹介や、地元のラジオやテレビへの出演などの様々な交流を行い、生徒たち自らの生き方や将来展望に思いを馳せる上で貴重な経験になったものと思います。

町民代表派遣者につきましては、一般公募を実施した上で3名を派遣し、各種施設の見学や七飯町に縁のある方々との交流を行い、当町のことを改めて深く知る良い機会になったとともに、互いの文化や習慣に関する違いなどを学ぶことができたものと思います。

また、訪問団の旅程に合わせて、第11代国際交流員アンドリュー・クルーパさんが2年間の任期を終えて帰国し、第12代国際交流員サラ・タンさんが赴任いたしました。2人とも現地では訪問団に随行してサポートするなどの重要な役割を果たして頂きました。現在、サラ・タンさんは英会話講座の講師など両町の交流の架け橋となって積極的に活躍しております。

結びに、今後も両町の友好と親善の絆をさらに深め、将来にわたり末永く継続していくとともに、七飯町の更なる発展に向けて引き続きグローバルな国際視野に立つ豊かな人材育成に取り組んでまいりますので、関係者の方々の変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます、簡単ではございますが、本誌発行にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。